意見広告⑦

藤沢市政再起動を実現する会　国松 誠

みなさんと共に今、考えたい藤沢のこと

地方議員として30年余り。支えて下さった市民のみなさんとともに今を考え未来を創りたい。今回はそんなみなさんと考えたいことをまとめてみました。

待ったなし、公共工事見直しを
南北格差の是正も視野に

JR村岡新駅や、藤沢駅周辺の再開発、そして建て直しが決まった藤沢市民会館など、今後、藤沢市では市による、または市が関係する大きな工事が控えています。しかし、先の報道にもあった通り、村岡新駅では藤沢市が負担する整備費が当初に比べて3・4億円増え、市民会館では昨夏、資材や人件費の高騰で算出が難しいとして、基本設計段階まで算出を引き延ばすとしたようです。

今は人口増の藤沢市もいずれは減少に転じ、比例して税収の減も予想されます。また、市内には老朽化した学校や、日々の交通安全が脅かされている道路の開発など必要とされながらも滞っている事業があります。

今後何年も市民からの多額の血税が投入される大型工事ですが、今必要なのか、仮に必要だとしてその手法や規模でいいのか、他の良策はないのか、と疑問がわきます。

また開発が南部に集中し、北部への投資が少ないようにも感じます。相鉄いずみの線の延伸も含め、「なぜ南ばかり」という北部地域の市民の声が多く届いています。全てをやめるべき、ということではありません。必要性、重要性の高さ、南部北部のバランス、様々な要素を再度勘案して優先順位をつける必要があると考えています。

皆さんのお声が届いています
運動場不足、自治会・町内会DXなど

市民のみなさんからの声が続々と届いています。地域でスポーツをやりたいが運動場がなく、サッカーやキャッチボールができる公園もない。自治会・町内会のデジタル化はどうしよう、大事な家族、ペットの避難体制の不公平感など内容は様々です。運動場不足に関しては行政が安全安心を担保しつつ、企業が持つ施設を活用する。自治会・町内会のデジタル化は、住民負担を減らし、回覧板など紙をデジタルにすることで脱炭素につながることとして、より踏み込んだ支援をするべきだと考えます。ペットの避難は、受け入れられる場所も一部あるようですが、市民周知が不足。常にアピールすることで、いざの時にさまようことを防止してくれます。このように地域の身近な課題は、行政の少しの意識づけで解決できることが多いと思います。大小関わらず、みなさんが感じる「おや？」をぜひ一緒に考えましょう！

企業の脱炭素への取り組み支援
大学連携で地域経済の新たな芽を

地球温暖化対策として待ったなしと言われるカーボンニュートラル（脱炭素）に向けた取り組み。中でも企業の支援の在り方はしっかり考えなければなりません。私は広くはもちろんですが、大きな脱炭素を担う事業者には大きな補助金をつけていくことが大切と考えています。

例としては自動車。ガソリンから電気や、水素に移行する中、設備をがらりと変えなければなりません。地域の金融機関と連携しながら、そんな設備投資を補助していくことが、加速につながると思っています。

他方、未来の藤沢を支える起業の機運も上げていきたいと考えます。注目しているのが大学。先日あったことですが、慶応大学湘南藤沢キャンパスの方の商品開発で、日大生物資源学部とつなぐことで価値が高まる結果となりました。市内4大学に加え、横浜国立大学の新拠点も藤沢に来ました。各々の得意をコーディネイトしていくことで芽をどんどんと増やしていきたいと考えています。

国　松　誠

プロフィール
■経歴　1961年生まれ
神奈川県立藤沢西高卒
明治大学法学部卒
衆議院議員　藤井裕久秘書
藤沢市議会議員
藤沢市議会議長、全国市議会議長会会長
神奈川県議会議員4期務める

☎0466-31-3555
✉ kunimatsu.makoto.pr@gmail.com
URL https://kunimatsu-makoto.com

国松誠チャンネル
動画配信中
二次元コードから
お気軽に▶